

江南公民館だより

6月号

発行 熊谷市江南公民館
(江南総合文化会館ピア内)
電話 048-536-6262
令和3年6月1日



一番左に鎮座してます

馬頭観音の伝説(熊谷次郎直の馬) 樋春南地内真光寺
昔は、馬は荷物を運んだり乗り物として大変貴重な家畜でした。そういった馬が亡くなると、馬頭様を建て供養をしたとのことでした。樋春南地内の大沢家には馬頭が二つあり、その馬頭様を一つは薬師様、一つは真光寺に納められています。
真光寺の馬頭観音は、その昔熊谷次郎直実が馬に乗って当地を通りかかったところ、馬の具合が急に悪くなり歩けなくなってしまいました。そこで大沢家に立ち寄り、大沢家の馬と取り替えたそうです。熊谷次郎直実の馬は、看護の甲斐なく、その後死んでしまいました。その亡くなった馬を丁重に葬り供養のために馬頭様を建てたとのことでした。
撮影 田口 徹男

参加者の皆様へ 第1回 ふれあい講座

「幕末を生き抜く渋沢栄一」

6月16日(水)午後1時30分から

渋沢栄一は何を願いどんなこと、誰と戦ってきたのか?

講師 元熊谷市公民館連合会長 角田光男 氏



渋沢栄一は”日本資本主義の父”とされており、初代紙幣頭(現在の理事長)であり、近代日本における経済発展の立役者で、日本を代表する経済人とも言える人物です。

2024年から1万円札の肖像画として流通されます。

夏休み子ども教室・親子陶芸教室

昨年は開催できませんでしたが、今年はいろいろな制限の中、注意を払って開催いたします。

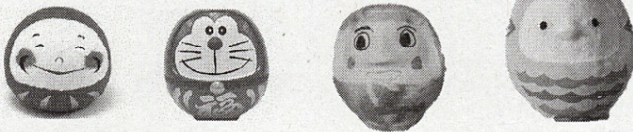
学校を通して、お知らせを配布いたしますので、希望者は申し込みください。

子ども教室 『小川和紙でだるま作り』

令和3年7月31日(土)

午前の部(9時から) 午後の部(13時から)

参加費 一人 500円



親子陶芸教室

作陶(成型) 令和3年7月24日(土)・25日(日)

釉薬(色付け) 8月21日(土)

参加費 一人 500円

健康いきいき学級

6月9日(水)午後1時30分から

「エンディングノート」

今回の講座では、終活のノート作りについて学びます。



知っているようで意外と知らない。

覚えているようで案外覚えていない。

家族に関すること、生活に関すること。

『もしもの時に役立つノート』は、貴方に関するさまざまな情報をわかりやすくまとめておくためのノートです。

7月1日(木)午後1時30分から

「涼しさ呼ぶこけ玉作り」

今、ひそかなブームとなっております。



※ 会場は江南コミュニティセンター

(江南第1コミセン)

住所 熊谷市成沢1138番地1

